

A3871

711系-100・200・新塗装・非冷房・
急行かむい 6両セット

予価:34,500円(税別)

JANコード:122785 カートン内入数:12

A7340

711系-100・200・
復活塗装 S-110+114編成 6両セット

予価:34,500円(税別)

JANコード:138519 カートン内入数:12

商品形態

Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

実車

711系は1967(昭和42)年の函館本線電化開業に併せて登場した交流近郊型電車です。20m級の車体は寒冷地に対応するために2扉デッキ付きで、急行型に類似した形態が特徴です。100番台は1980(昭和55)年より、千歳線・室蘭本線の電化開業に伴って登場したグループで、従来は共通設計のクハ711が奇数向き100番台、偶数向き200番台に細分化され、100番台のトイレ・洗面所が省略されたのが特徴です。また、側面に電動行先方向幕が設置されました。登場当初は交流電気機関車同様の赤2号を基本とし、前面にクリーム色の警戒色を塗装していましたが、1985(昭和60)年から明るい赤にクリームの側面帯を配した塗装に順次変更されました。国鉄民営化後は乗客の増加に伴って1987(昭和62)年より一部の先頭車の3扉化改造が行われたほか、2001(平成13)年から一部の編成の冷房改造が行われたほか、2004(平成16)年から順次パンタグラフがシングルアーム式に交換されました。後継形式の増備や老朽化に伴い徐々に引退が進み、非冷房・2扉で残っていた編成のうち、S-110編成が2011(平成23)年5月に、S-114編成が翌年6月にそれぞれ登場時の塗装に再度塗り替えられました。同年11月には両者の連結運転が実現して多くのファンを魅了しました。711系は最終的に2015年3月に全車引退しました。

商品概要

- ・マイクロエース近郊型電車シリーズの更なる充実
- ・ヘッドライト、テールライト、前面表示器点灯。LED使用(ON-OFFスイッチ付)
- ・フライホイール付動力ユニット搭載

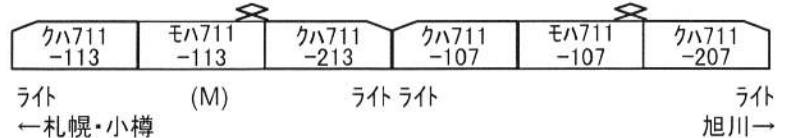
明るい赤ボディにクリーム帯



- ・サボ受けに「急行」「かむい」印刷済
- ・下枠交差型パンタグラフPS102搭載

JR北海道商品化許諾済

編成図 A3871



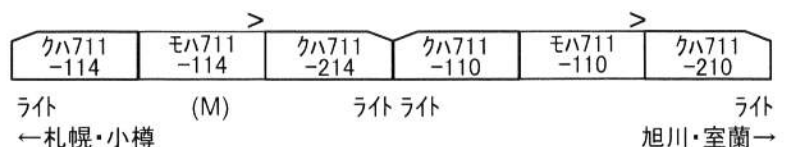
赤2号+前面にクリーム色



- ・前面編成番号を実車どおり窓ガラスへ印刷済
- ・シングルアームパンタグラフ搭載

JR北海道商品化許諾済

編成図 A7340



オプション

幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・黒:F0001

付属品

行先シール